

飼料価格高騰に係る対策について(肉用牛肥育)

目指すのは

飼料ロスの低減
飼料効率の向上
生産性の向上 (事故率低減)

日常の管理において、
どこでどのように
飼料が無駄になっている
かを考え、意識して
取り組んでみましょう

① 食いこぼしや無駄餌の防止のために

- ・ **少量の餌を頻回給与**することで、食いこぼしを防止しましょう
- ・ こまめに**餌槽内の掃き寄せ**を実施しましょう
- ・ 牛が粗飼料を食べる際に牛房内に引っ張り込んでこぼすことのないよう、馬せん棒の高さを調整しましょう

一日の給与量を複数回に分けて給与し、食いこぼしが出ないようにしましょう



餌槽内の餌が散らかったら掃き寄せてあげましょう



引っ張り込んだ粗飼料は、脚で踏まれて糞と混ざりあうと、もう食しません



馬せん棒の高さは、少なくとも60センチ（牛が乗り越える心配がなければそれ以上）あると良いでしょう



②飼料効率の向上のために

- ・ **良い素牛**を選び、飼い直し期間を短くしましょう
- ・ 適期（導入直後）に粗飼料を多給し、しっかりした第一胃を作りましょう
- ・ 産肉生理論を基本に、血統や性別、肥育月齢にあわせて、最適な飼料を適量給与しましょう
- ・ **餌槽及び水槽は毎日清掃**し、常に清潔な状態を保ちましょう



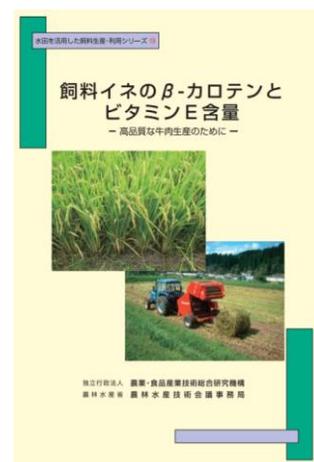
- 良い素牛の一例として、
- ・ しっかり粗飼料を食い込んでおり、肋張りが良く、深みがある
 - ・ 毛艶が良い
 - ・ 尾枕がついていない
 - ・ 角や蹄にストレスを受けたあと（年輪のような輪）がない
 - ・ 陰毛に白色結石の付着がない等があります

コケが生えたり、汚れが浮いている水は、雑菌が繁殖し、腐敗しやすくなります。
牛がぐびぐび飲みたくなるように、毎日きれいに掃除しましょう。
暑い時期の暑熱対策としても大事です。



③自給粗飼料の活用

- ・ 田んぼへのすき込みや放置されている稲わらなど、**地域で生産された稲わら**をできる限り確保しましょう。
- ・ 肥育牛にWCS（飼料稲サイレージ）を給与する場合は、給与時期に注意しましょう（脂肪前駆細胞が分化する14～20ヶ月齢ごろの給与は避けましょう）
- ・ WCSを収穫する際に、黄熟期の飼料稲を予乾してサイレージ調製することで、 β -カロテン含量を低く調整できるという報告もあります（農研機構「飼料イネの β -カロテンとビタミンE含量～高品質な牛肉生産のために～」参照）。**WCSを購入する際は、収穫ステージ及び予乾の有無などを確認しましょう**



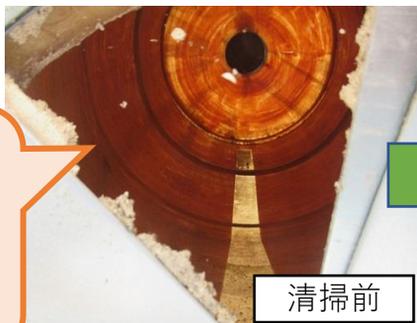
④飼料タンクや餌の管理

- ・飼料にカビ等が生えないように、タンク内への雨水の流入等に注意しましょう
- ・暑熱期は飼料タンクにカバーを掛けるなど、**タンク内の温度上昇を防ぐ対策**をしましょう
- ・飼料タンクが空になるタイミングで、内部にこびりついた餌の塊をしっかりと落としてから次の飼料を入れましょう
- ・濃厚飼料のまとめ買いや買い置きは、保管期間が長くなればなるほど品質低下のリスクがあります。できる限り必要な量をその都度購入することが望ましいですが、長期間保管する場合は保管する環境に充分留意しましょう。
- ・紙袋飼料や稲わら、乾草なども**雨等のあたらない屋根下や倉庫内で保管**しましょう
- ・紙袋飼料は、使用するたびに**しっかり封を**しましょう

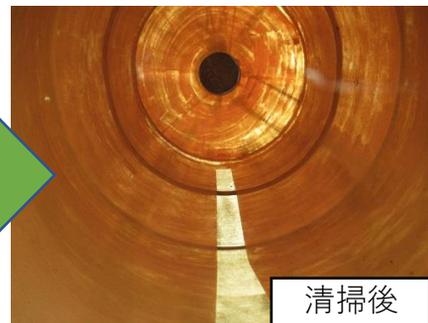


暑い時期は、タンクの中も高温になり、中の餌が変質してしまいます。断熱シートで覆うなど、タンク内の温度上昇を防ぐ対策をしましょう。

残った餌の塊にカビが繁殖したり、その塊が原因で飼料搬送ラインが詰まることもあります。可能ならタンク内を洗浄すると、なお良いでしょう。



清掃前



清掃後

粗飼料も濃厚飼料も、屋根下や室内など、雨のあたらない所で保管しましょう

ロールや飼料はパレットの上のせて、下部の通気を確保しましょう。



使用途中の紙袋飼料は、開けっぱなしにせず、しっかり封をしましょう



⑤適正な体重で出荷

- ・出荷時期は牛を見て調整しましょう
- ・近年、改良がすすみ早く大きくなる牛も多く見られるため、早期出荷に努めましょう

⑥その他の飼養管理

- ・カビの生えた餌は給与しないようにしましょう
- ・事故率低減のために、牛をしっかりと観察し、疾病や異常行動の早期発見に努めましょう
- ・ICT機器を活用し、牛の異常に早く気づいて対処できる環境を整えましょう



もったいないと思っても、カビの生えた飼料を給与してはいけません。堆肥に混ぜ込んで処理するか、ほ場に還元しましょう。

肥育牛に適したICT機器の例として、牛の行動監視システムや、活動情報解析システム等があります。



問い合わせ先窓口

| | | |
|---------|-----------------|--------------|
| 【中部地区】 | 中部農業改良普及センター | 0985-30-6121 |
| 【南那珂地区】 | 南那珂農業改良普及センター | 0987-21-9550 |
| 【北諸県地区】 | 北諸県農業改良普及センター | 0986-38-1554 |
| 【西諸県地区】 | 西諸県農業改良普及センター | 0984-23-5105 |
| 【児湯地区】 | 児湯農業改良普及センター | 0983-43-2311 |
| 【東臼杵地区】 | 東臼杵南部農業改良普及センター | 0982-68-3100 |
| | 東臼杵北部農業改良普及センター | 0982-32-3216 |
| 【西臼杵地区】 | 西臼杵農業改良普及センター | 0982-72-2158 |
| 【 県域 】 | 総合農業試験場専門技術センター | 0985-44-1620 |
| | 宮崎県畜産振興課 | 0985-26-7138 |